再強フェンス®

NETIS HR-110028-V (掲載期間終了)「平成29年12月発行落石対策便覧」対応製品

落石防護

落石予防

崩壊土砂 / 土石流

地山補強 /植生

雪崩

工事



特長

再強フェンスは、耐力や柵高が不足した既設の落石防護柵を補強する工法です。防護柵の柵高を最大 6.0mまで、対応落石エネルギーを最大200kJまで向上させることができます。

● 既設落石防護柵の撤去・再設置を行わず、 柵高と耐力を向上

既設柵の支柱に補強支柱を被せて設置することによって柵 高を、緩衝金具付の特殊ワイヤネットを設置することによって 対応落石エネルギーを効率的に向上させます。

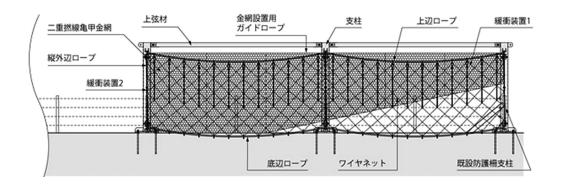
② 低コストで施工が可能

既設柵を再利用することができるため、低コストで施工する ことが可能です。

3 廃材が少なく、環境への負荷を軽減

既設柵の全撤去がないため、廃材を減らして環境負荷を最 小限に抑えることができます。

構造



実物実験

「平成29年12月発行落石対策便覧」の性能検証条件に適合した実物実験を行いました。

[条件]

供 試 体: 実物大 実験方法:鉛直落下式 入射角度:阻止面に垂直 スパン数:3スパン 重錘形状:多面体コンクリート 衝突位置:スパン中央

支柱間隔:5.0m 重錘落下高: 32m以上 阻止面:中間スパン、端末スパン

衝突速度:25m/s以上 高: 3.0m







実験供試体 実験供試体 実験供試体

● 実験結果

タイプ	捕捉エネルギー	衝突速度	中間スパン	端末スパン
Lタイプ	61kJ	25.2m/s	捕捉	捕捉

施工事例



発注者:秋田県鹿角地域振興局

工事件名:平成28年度県単砂防工事(自然防止債・急傾斜)

施工箇所:秋田県鹿角市花輪字荒屋敷地内

施工延長: 22.5m



発注者:民間直接

工事件名:第二みつわクラブ落石防護柵設置工事

施工箇所:神奈川県横須賀市田戸台24番地施工延長:12m

落石防護

落石予防

崩壊土砂 /土石流

地山補強 /植生

雪崩

工事